

又吉 貢 議員



成30年度は9万8千人、令和元年度は、8万8千4百人で、オープンの3日間は恩納村をアピールすることを目的に、ミスおんなナビールによる観光PR、エイサー、大画面での恩納村のPR動画を放映しました。課題は、期間が長く、滞在期間がかかってしまう。

質 今後の展望について。
答 商工観光課長 山田俊幸

観光物産展は、一括交付金で実施しており、交付金は令和3年度まで。今後、どのように実施していくか、関係者と検討したい。

質 村長、見直す点があれば。
答 村長 長浜善巳

10日間という長い期間、従事する皆さんも苦労しています。東京在住の皆さんも一緒にできないか検討します。

質 2017年度、リピート率が42%、19年度は54%、「恩納村に行つたことがありますか」に対して60%が「はい」、「恩納村を知っていますか」に対し87%が「はい」と答えており、毎年同じ人に宣伝している。半分をほかの都市でやるか、時期を検討していく必要がある。

質 成果と結果をお願いします。
答 商工観光課長 山田俊幸

本年物産展や来場者も増加傾向、平成29年度は7万8千人、平均は。

質 めんそーれフェスタ、開催の趣旨は。
答 商工観光課長 山田俊幸

本村の環境を生かし、沖縄の文化、芸能、観光、特産物等を紹介し、本村への誘客を目的としております。

村長 長浜善巳

大阪、香港、韓国、台湾のほうでPR活動もやっている。議員からありました月を分けてできないか、検討したい。

SDGsにかかった予算は。
答 企画課長 山城雅人

村負担分は約2千7百50万円。
質 あとどれくらいかかるのか。
答 企画課長 山城雅人

令和3年度までの3年間計画で、4年度以降は、第6次総合計画に理念等を取り入れていければ。

今どいついった状態なのか。
答 企画課長 山城雅人

専門家による勉強会を、村関係機関に向けて実施しました。村全体の課題を出して、課を超えた意見交換を実施して、現在取りまとめの最終段階。

2030年度、どいついった村を
目指しているのか。
答 村長 長浜善巳

SDGsの理念を村民全員参加型で実現したい。住民一人一人が自己実現できる村づくりを目指し、環境の保全のためのルールづくり、

ブランドの確立など、これまで形にできなかったことを進める有効な手段と思っています。

2030年度、どいついった村になつてほしいというトップの思いがSDGsに反映され、それに向かつて村全体で取り組むのがSDGsだと思う。住みよい恩納村にするため、人口が何名、観光客が何名来て、教育、農業、水産業はどうあるべきだ、村長のイメージお聞かせいただきたい。

質 どういう村を目指しているのか
と意見交換をしているところ。大きな目標ですので、みんなの意見を聞いて反映させたい。

SDGsはイメージがあつて、そこに向かつていくのが本来のあり方。それができないと大き過ぎて迷宮してしまう。村長でイメージを作つて、夢を語る。SDGsをつくつていただきたい。

おもてなしの心で観光客を迎え、また来たいという村にしたい。またそこには心温かい村民が住んでおります。その皆様も一緒になって、村を盛り上げて発展させていく。

タイワンハブについて

急速に分布を拡大している、現在の生息域は。

質 急速に分布を拡大している、現在の生息域は。
答 村民課長 屋良朝也

当初は山田校区と名嘉真地区のみ。平成26年度から仲泊区の博物館の山側から仲泊ニュータウン、及びその上の土地改良区で生息が確認されております。

Table with 3 columns: Year, Yamada District, Nakahara District. Rows for Heisei 28, 29, 30, and Reiwa 1.

タイワンハブは、攻撃性もあつて、毒も本ハブの1・2倍と言われている。村民に対する咬傷注意喚起は。

質 タイワンハブは、攻撃性もあつて、毒も本ハブの1・2倍と言われている。村民に対する咬傷注意喚起は。
答 村民課長 屋良朝也

現在、村の広報や役場窓口チラシなどを置いてあります。次年度から各公民館、公共施設にチラシを置き、注意喚起をすることを考えております。

平成30年、平成31年、そして今

シンカレタスについて

現在の生産者数、作付け面積、生産量を伺います。

質 現在の生産者数、作付け面積、生産量を伺います。
答 農林水産課長 宮平 覚

生産者が5名、作付面積が約4、500坪、生産量は、平成30年度は45トン、今年度は増える見込みであります。

販路拡大と地産地消の推進に取り組みとありました。ホテル等のレタスの利用状況は。

質 販路拡大と地産地消の推進に取り組みとありました。ホテル等のレタスの利用状況は。
答 農林水産課長 宮平 覚

ホテルへの出荷量は約6トン、生産量の約13%、兼正青果の取り引き量約24トン、約52%。

質 今後の取り組みを伺います。
答 農林水産課長 宮平 覚

村長を初め、おんなの駅の協力も得まして、ホテルに対しレタスの



使用の協力依頼を行っている。おんなの駅の冷蔵庫の電気料、選別作業の人員費、仕入価格の半額以下での販売等かなりの負担と思うが、どのように認識しているか。

質 負担を負っているということは重々承知しています。今後、村として営業活動を行う専属人（コーディネーター）の配置を考えている。

質 プロジェクトを成功させるためには、農家が立ち立できるような、思い切つた支援が必要だと思ひます。

質 プロジェクトを成功させるためには、農家が立ち立できるような、思い切つた支援が必要だと思ひます。
答 農林水産課長 宮平 覚

農家の意見や市場等の動向を注視しながら、生産組合としての組織化も含めて検討していきたい。

大城 保 議員

